



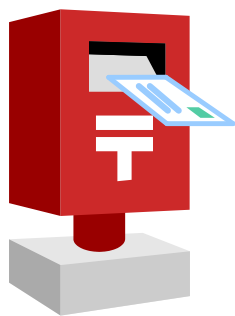
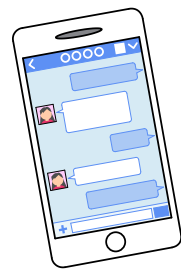
ホームページやSNSの投稿を読んで、そこに書かれていることの意味の取り方で悩んだことはありませんか？

## 手紙を書いて表現力を高めよう

個人が自由に作成できるホームページやブログなどを読んでみると、複数の解釈ができたり主語が不明確で書き手が本当に言いたいことは何かと悩むことがあります。

出版社から発行される本などは、読み手が書き手の伝えたいことを誤解しないように何度も校正されています。そのため、書き手の思いがずっと伝わってきます。

私たちも SNS の普及で自分の思いを誰かに発信する機会が増えました。そのやりとりの中で自分の思いが正しく相手に伝わらなかったことはありませんか。私も時々伝えた内容について確認されることがあります。これはとても大切なことで、この食い違いで仕事の手戻りを発生させたり人間関係を悪化させてしまうことがあります。言葉で会話をすれば口調やイントネーションで伝わる感情が、文字では読み手の読み方に委ねられます。こちらの感情を読み取ってもらえる表現を心がけているつもりでも、必ずしも正しく伝わるとは限りません。この米工 MAKERS も書いては何度も読み返し、真意が伝わるように努めています。



明日は「ふみの日」です。旧郵政省が1979年に毎月23日を「ふみの日」と制定しました。郵便物の利用促進を目的としながら「手紙の楽しさ、手紙を受け取るうれしさを通じて文字文化を継承する一助となるように」という願いが込められていました。

手紙を書くときは、“この表現で自分の思いが正しく伝わるだろうか”と考えながら書きます。考えなければならない分だけ書きづらさを感じることもあります。私にはお世話になった方へ礼状を書こうと思ってもなかなか筆が進まなかった経験があります。しかし、あるとき思っていることを話し言葉でとりあえず書いてみようと考えました。そうすると抵抗感なくさっと書くことができました。一度書いた後に読み直して失礼のない程度に修正して完成です。その後は手紙を書くことをそれほど苦に思わなくなりました。

みなさんは、電子メールやLINEなどで毎日のように誰かにメッセージを送っていますよね。その分だけ自分の思いを正しく相手に伝えることができるかどうかを試す機会がたくさんあります。少し意識して、“この文面で正しく理解してくれるかな”と見直しながら送ってみましょう。

自分の思いを正しく伝え、人間関係を円滑にすることは毎日楽しく過ごす重要なポイントですね。





## 新しい ALT 米工到着

約1年半遅れましたが、ようやく待望の ALT (外国語指導助手) が本日 (令和3年11月24日) 米工にやってきました。名前はドミニクホルムさんです。今日は朝の職員会で米工の先生に自己紹介をし、その後、応接室よりリモートで着任式を行い全校の生徒に挨拶をしました。はじめは緊張気味でしたがきちんと自分の思いを生徒に伝えていました。お疲れ様でした。

彼の自己紹介の英文とその和訳を紹介します。なるべく英語で理解できてもらえると嬉しいです。

### Introduction of new ALT (original)

My name is Dominic ( Dom for short ) and I'm 23 years old , and I'm from the United Kingdom. When I was 17 , I had a teacher who introduced me to Japanese films ( such as Kurosawa Akira ) this sparked a passion for Japan generally. In being an ALT , I hope I can likewise help students to broaden their horizons through English , and have a positive impact on their lives my teacher once did for me.

### 新しい ALT ドミニク ホルムさんの紹介

私の名前はドミニク (略してドム) です、23歳です。イギリスから来ました。私が17歳の時1人の先生が私に日本の映画を紹介してくれました (黒沢明監督の作品のような)、そのことが本当に私の日本への情熱に火をつけました。ALTとして、私も同様に英語を通して生徒の視野を広げ、生徒の生活に前向きな気持ちを持てるようお手伝いできたらと思っています。かつて私の先生が私にしてくれたように。

出身地 イギリス マンチェスター

専攻 神道

趣味 時代劇を見ること

好きなお茶 緑茶

好きな動物 亀

好きな国 日本 (大好きだそうです)



English tea をイギリスのお土産にいただきました。なかなか気遣いもできる人のようです。

ありがとうございました。



## 会社を1年未満で辞めてしまうことを どう思いますか？



先日、こんな数字が巷のニュースから目に入ってきました。

「H29年3月高卒者、3年以内の離職率は39.5%。」実に約4割の高校生が、在校中にあんなに一生懸命面接練習をしたのに、入社後3年未満で会社を辞めてしまっているわけです。本校でも全国平均的には少ないですが、残念ながら入社後1年未満で辞めてしまった卒業生が現時点でも何人かいます。会社としても元気ある若手を採用して組織の新陳代謝を促したいところなのに、なぜ半数近い高校生が3年以上仕事を続けることができないのでしょうか？

企業を訪問し、卒業生や人事担当者のお話を伺ってわかってきたことがあります。会社を辞めた離職理由として、「仕事が合わなかった（ミスマッチ）」ということを第一にあげる卒業生がダントツに多いのですが、実はそれは**口実にすぎない可能性が高いのです**。例えば、1年目に「仕事がキツイ、忙しさが半端ない、正直やりがいとかまだよく分からない。」と、仕事内容や労働条件に不満を言う卒業生も中にはいます。ですがその後、「でも先輩がやさしく教えてくれる。」という言葉が続く卒業生は、2年目に出会うと後輩に仕事を教えながら「お久しぶりです。」なんて、落ち着いた笑顔をこちらに見せてくれることが「あるある」です。反対に、「先輩はちゃんと仕事を教えてくれないし直属の上司とも合わなくてしんどい。」ということを初めに言う卒業生は1年未満で辞めてしまう傾向があります。そしてその後続く言葉は、「これで給料が他よりいいとか、仕事にやりがいがあるならまだ続けようとは思いますが・・・。」つまり、「人間関係がトリガー（引き金）」となって、仕事のやりがいや働く意欲が左右されてしまい1年ともたないという悪循環がそこにあります。



「会社を1年未満で辞める人と辞めない人」この違いは何なのでしょう？



実は、「人間関係はいいです。」という卒業生は、本人も人間関係を良好にするための努力を気がつかないうちにしているものです。実際に彼らに、「周りの方々に恵まれたね、とは言うもののそれは貴方自身が人間関係を楽にするために努力してきた結果でもあるんじゃない？」と聞くと、ほぼ全員が嬉しそうにニタッと笑ってうなずきます。「そういえば、最初は先輩に色々と気を遣ったなあ。」と。そもそも知り合いすらいない新しい環境に初めて入る新人にとって、最高な人間関係が始めからそこに転がっているわけがありません。「どうにかしてここに馴染んでやろう」というちょっとした気合い？のような意識が始めに働いて、わからないことがあれば聞きにくくても、「すみません、確認のためにもう一度教えて頂けますか？」と、時には詫言ながら先輩を追いかけていく努力があったからこそ、3ヶ月くらいたった後に人間関係で少し楽になっている自分に気づけるのでしょう。

※もちろん、本人がこのように努力しても、特定の上司・先輩から理解してもらえずいわゆるパワハラを一方向的に受けている、あるいは労働条件が求人票とは違っていたというようなケースは除きます。

以前、5年以上会社に定着している卒業生だけにこんな取材をしたことがあります。

### 「新入社員の時に心がけていたコミュニケーションベスト3」

- 1、指導社員の方にミスを叱られる覚悟で報告・連絡・相談をマメにしていた。
- 2、教えてもらったら「ありがとうございました。」お礼とあいさつはしっかりと。
- 3、時には休憩時間に自分の方から自己開示。こちらから話を振ったりして会話をしてみたら、上司と共通の趣味があって急に色んな事がやりやすくなった。



平成生まれの高校生の皆さんにとっては少々昭和っぽい感覚かもしれませんが、平成から令和の時代となった今でも、米工卒業生達の上記ベスト3は実はあんまり変わっていませんよ。

★次回は「現場で働く卒業生の声」をお届けします★







みなさんは虹を見たことはありますよね。虹は太陽を背にして見えるので、朝は西の空、夕方は東の空にみえます。さて、虹は何色ですか？

## 言葉は世界を拓ける！

虹というのは、大気中に浮かんでいる小さな水滴に太陽の光が屈折して生じます。水滴がプリズムの役目をするので、太陽の光が屈折率の違いで外側から順に赤から紫の連続して変化する色の帯として見えています。日本では外側から赤・橙・黄・緑・青・藍・紫の順番に7色になっています。

ところが外国に行くと虹は7色ではなくなるのです。何が違うのでしょうか？この質問を投げかけるといろいろな回答が返ってきます。みなさんも考えてみてください。

アメリカやイギリスでは6色、ドイツでは5色になるそうです。なんとアフリカでは2色という部族もあるそうです。さて、その理由は？

答えは色を表す言葉がどれだけあるかということです。虹は連続して変化する色の帯ですから、はっきりとした色の境目があるわけではありません。これを何色と見るかは、その国の色に対する文化によって異なるのです。

しかし、不思議なのはアフリカの2色です。何色と何色なのでしょう？実はこの部族には色を表す言葉がないそうです。ただ、明るいか暗いかという識別の言葉はあるようで、その点において虹を2色と判断しているようです。

このことから、識別できる言葉の数が多いほど、物事の違いを見分けられることが分かります。例えば、「うざい」「きもい」「だるい」の一言で終わらせていると、自分が本当は何に対してどのようにこだわっているのか分析することができなく、いつまでもイライラしたままになります。また、自分がどのような感情をいだいているのかを適切に人に伝えることも難しくなります。

扱える言葉の数を語彙（ごい）といいます。語彙が多いと、状況を細かく分析できたり、わかりやすく説明することができます。この状態を語彙力が高いと言います。



ものづくりに携わるとき、その繊細な設計や加工を行うためには細かな違いが分かる能力を求められます。語彙力を高める意識は、ものづくりの精度を上げる意識に通じるものがあります。新しい言葉に出会ったら、メモをして、さらには使ってみて、自分の語彙に加えてください。

校長 松川明義



## 求人世界も温故知新で～その①～

ここ10年間で、本校にくる求人の傾向や求人数は緩やかではありますが確実に変化しています。

一体、どんな企業が毎年のように本校に求人を出され、近年はどんな企業が高校生を求め、新しく求人を出して頂いているのでしょうか。進路指導部では、「卒業生の声」という冊子を2年に1回発行し働く先輩の声を紹介しています。(3年生各教室に配布) 今回はその一部を米工 MAKERS でも紹介していきます。先日、米子製鋼、後藤工業、I-PEX 島根、鶴見製作所を訪問し、昨年度の卒業生に会ってきました。いずれも米工 OB がたくさんおられ昔から本校とはご縁がある地元企業です。求人世界も「故きを温ね(ふるきをたずね)、新しきを知る。」まずは“地元企業温故シリーズ①”からお届けします。

※企業と卒業生には掲載許可を頂いています。

① 米子製鋼(株)(火力・水力・原子力発電部品やステンレス製ポンプ部品、超大型鉱山機械の部品等を鋳造で製造)



「機械課に配属(左写真)NCで製品を切削・加工します。鋳鋼品(ちゅうこうひん)は、大きいものでなんと15トン、一番軽いものでも80kg! (ﾟдﾟ) 重量物を吊して運ぶ時など下にいて落下したら命に関わるので安全管理は徹底しています。先輩が親切に教えてくれるので不安はありません。10月くらいから少しずつ慣れてきました。1つ1つ違う製品で段取りや置き方も全部違うので覚えることはたくさん! 何回も聞くのではなくその都度メモを取ることが大切。土日は休養、しっかりと休めてます!」

② 後藤工業(株)

鉄道車両及び同部品の製造・点検整備修繕



鉄道修繕に励む卒業生と鉄道愛が止まらない校長先生

③ I-PEX 島根(株)

電子部品の生産設備製作(精密金型・精密自動機等)



「こんな製品を製造しています!」

④ (株) 鶴見製作所米子工場

業務用ポンプ(主に大型ポンプ)を生産



「DL 車体課に配属。ディーゼル全般、DL ラッセル車、除雪列車等、主に機関車の修繕に従事しています。列車の動く構造を知るのが大変でメモを取りながら先輩について頑張っています。この仕事は作業する自分の命も含め、お客様の大切な命をお預かりする仕事なんです。例えばエンジン解体の時、ボルト1本締め付け忘れがあると、機器や部品が落下し事故のリスクがあるので慎重さが命綱です。」

「電子部品事業部メッキ課(左)プレス課(右)に配属。メッキ課はプレス加工からあがった製品の汚れを洗浄し、電気を通しやすくするためメッキ塗装(金を塗装)し乾燥させ、表面を保護する層間紙を巻き取る作業に従事。米子住者は入寮できます。1DKの広い部屋に一人で住めますよ。後輩にぜひ来て欲しいですね。」

米子工場(夜見町)では2名の卒業生が製造課機械・組立チームに配属。もう1名は南部町の生産技術課砂型チームに初の配属となった(上)「ソリッドワークスというソフトで3Dの砂型モデルを作成し、砂型積層造形装置(3Dプリンタ)にデータを読み込ませ右上写真のような造形物が出来上がる。M科で習った鋳造の知識と製図の見方が役立った。どちらかというと機械製図が苦手でない人に向きます。」